

報告

ブックフェア 2021 マイクロアグレッション ～差別と心理学～

2021年度ICU-SSRI共催国際シンポジウム「差別と心理学：マイクロアグレッションを理解し、日本社会の変革につなげる」の連動企画として、ブックフェア「マイクロアグレッション：差別と心理学」を2021年11月2日～12月17日まで図書館1階の展示スペースで開催した。この期間に重なる11月5日～11月23日はソフィア・オープン・リサーチ・ウィークの参加企画として、ウェブサイト掲載や2号館1階にポスター掲示がなされた。



写真1 図書館1階の展示スペースの様子

選書にあたっては、「マイクロアグレッション」という言葉が日本に紹介されて日が浅いため、その背景にある差別構造や偏見を学ぶのに有用な書籍も含め、研究者や文筆家、社会人教育に携わる方、学生、所員・職員から推薦してもらい、紹介文とともに展示した。展示スペースのパーティションには「気にしすぎだよ」「いいお嫁さんになれるね」「日本語お上

手ですね」「ゲイの人って芸術的センスがあるよね」「障害は個性だね」などなど、よく発せられるマイクロアグレッションとなる言葉を吹き出しにして貼り出した。図書館の利用者たちの目を引いたようで、本を手にとったり、展示を写真に撮ったりする人の姿が頻繁に見られた。展示した書籍がのべ27冊、期間中に貸し出され、図書館の担当者によれば、ブックフェア中の貸出冊数としては多いということだった。

展示した書籍・紹介文を中心に小冊子を制作し、2022年3月に刊行することができた。また、掲載できなかった紹介文を含め全リストをブックフェアのウェブサイトにも4月中にアップする予定である。

佐藤和子（グローバル・コンサーン研究所）